

## 第8章 情報システムの役割

※ 要望学習項目 A は自分で勉強してください。

### 情報システムの仕組み

#### 1. チケット予約システムの概観

観劇や観戦などのチケットをインターネットで予約するシステムを例に、情報システムの構造や開発技術について解説する。チケット予約システムの利用者には、次のような人達がいる。

- ・ チケットを予約する顧客
- ・ 予約に必要な情報をシステムに与える主催者
- ・ システムを保守する人

ここでは、顧客の側から見たこのシステムのサービスを考える。例えば、

- ・ ジャンル別、地域別の購入可能なチケットの照会サービス
- ・ チケットの販売スケジュールの照会サービス

などがある。更に、顧客が目的のものを指定すると、それについての詳細な情報が得られる。続いて、チケットを購入するとなれば、受け取り方法・決済方法をシステムに伝えることになる。

ここで、公演・試合が中止になった場合や予約がキャンセルされた場合にもシステムは正常に動作せねばならない。また、決済方法の指定の際に顧客が誤ったクレジットカード番号を入力した場合などにも正常に動作せねばならない。このようなシステムは様々な例外的な場合に対応する必要がある。

#### 2. システムの仕組みとクライアント/サーバ型の構成

現在、上記のようなシステムは、ウェブブラウザ(Internet Explorer や Safari など)を通してインターネットを利用して利用することを前提として作られるのが普通である。

インターネット上のウェブブラウザとウェブサーバの関係は、典型的な「**クライアント/サーバ**」型の構成である(第3章Ⅲ節参照)。予約の流れは次のような感じである。

1. 顧客がブラウザを使って目的とする情報のあるサーバに接続し、情報を要求する。  
電話やFAXでの予約の場合は、顧客に代わってオペレータが要求する。
2. サーバが要求された情報をブラウザに送り返す。このときチケット予約に関する具体的な処理を行うプログラム(適応(application)プログラム/アプリケーション)がはたらく。  
アプリケーションは情報の管理されたデータベースにアクセスし、必要な情報を得る。

ここで注目すべきなのは、上の2.の中の「アプリケーションとデータベースの関係」も、やはり「クライアント/サーバ」型の構成となっているということである。

#### 3. 第8章 あとがき

たったの1ページで終わってしまってますみません。

